



暑さに慣れていない時期は危険

春の熱中症に注意しよう！

県内の多くの観測地点で夏日が観測される中、気象庁は、令和6年4月15日に早期天候情報を発表し、高温への注意を呼びかけました。(夏日：最高気温が25℃以上の日)
夏だけではなく、体が暑さに慣れていない春にも熱中症は発生します。

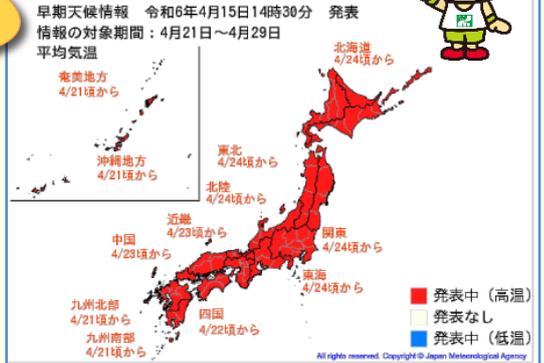


早期天候情報 発表！ 4月から暑い

早期天候情報※は、その時期としては10年に1度程度しか起きないような著しい高温や低温、降雪量(冬季の日本海側)となる可能性が、いつもより高まっているとき、6日前までに注意を呼びかける情報です。

また、2月に発表された6月～8月(暖候期)の予報でも、全国的に平均気温が平年より高くなる見込みとされています。身体が暑さに慣れていない時期は、上手に汗をかけないため、体内の熱を放出しにくく、体温調節がうまくいかないことがあり、熱中症の危険性が高くなります。春期から暑さに注意し、早めの熱中症対策をしましょう。

※ 情報発表日の6日後から14日後までを対象として、5日間平均気温が「かなり高い」もしくは「かなり低い」となる確率が30%以上、または5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に発表される。
月曜日(祝日などの場合は火曜日)と木曜日に発表。



4月15日に発表された気温の「早期天候情報」全国で気温がかなり高くなる確率が30%以上と見込まれることを示した図(気象庁HPから)

活用しよう！

今季の熱中症警戒アラートスタート！

4月24日から、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される時に注意を呼びかける「熱中症警戒アラート」の今季の運用が、始まりました。

また、今年からは、広域的に過去に例のない危険な暑さ等となると予想される時に「熱中症特別警戒アラート」が発表され、周りの人も含めた命を守ることを強く呼びかけられます。

これらの情報を発信する「熱中症予防情報サイト」では、アラートの発表状況と併せて、全国のWBGT(暑さ指数)を公開しています。同サイトには、アラート情報のメール配信サービスもあります。

WBGTやアラート情報を活用しましょう。

環境省 熱中症予防情報サイト

検索



WBGT(暑さ指数)とは

★ WBGTは、熱中症を予防することを目的として設定された指標で、値に応じて熱中症の警戒度が区分されます。

★ WBGT予測値が、県内すべての観測地点で35以上の場合は「熱中症特別警戒アラート」が、県内いずれかの観測地点で33以上の場合は「熱中症警戒アラート」が発表されます。

WBGT(暑さ指数)	日常生活に関する指針	運動に関する指針
危険(31以上)	外出は避け、涼しい室内に移動 高齢者は安静状態でも危険性大	運動は原則中止
嚴重警戒(28~31)	外出時は炎天下を避ける 室内では室温の上昇に注意	激しい運動は中止
警戒(25~28)	運動や激しい作業をする際は、 定期的に十分な休息を入れる	積極的に休憩
注意(21~25)	一般に危険性は少ないが、 激しい運動や重労働時には危険	適宜、水分補給

栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP



X
(旧 Twitter)